

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																																
1 認知症の医療体制	<p>(予防)</p> <p>○ 認知症予防体操などの認知症予防・支援プログラムの普及を図り、実践する必要があります。</p>	<p>○ 市町は、認知症予防体操などの認知症予防・支援プログラムの普及と実践に取り組みます。</p>	<p>○ 認知症予防体操等実施状況【市町】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>119</td> <td>272</td> <td>515</td> <td>701</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>344</td> <td>605</td> <td>560</td> <td>2,205</td> <td>2,075</td> <td>1,759</td> <td>5,492</td> </tr> </tbody> </table> <p>※認知症に特化した事業ではなく、介護予防事業として事業を実施しており、集計に含まれていない取組もある。</p> <p>(介護予防事業等の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室、一般介護予防教室、シルバーリハビリ体操指導者派遣事業、オレンジガーデニングプロジェクト（モデル実施）、いきいきドライブカフェ、認知症カフェ、サポーター養成講座、ホームページや広報掲載、認知症ケアパスの配布等 		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	回数	29	35	37	119	272	515	701	参加人数	344	605	560	2,205	2,075	1,759	5,492	<p>・実施回数 712 回</p> <p>・R5年度事業を継続。</p> <p>その他、認知症講演会、オレンジガーデニングプロジェクト（正式実施）等</p>								
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																													
回数	29	35	37	119	272	515	701																													
参加人数	344	605	560	2,205	2,075	1,759	5,492																													
	<p>(早期診断・早期対応)</p> <p>○ 高齢者の日常的診療や健康管理を通じ、認知症が疑われる症状がみられた場合は、早期の段階で専門医療機関への受診勧奨・早期診断に繋げる必要があります。</p> <p>(医療・介護体制)</p> <p>○ どこに住んでいても鑑別診断や適切な医療を受けられる体制を構築する必要があります。</p>	<p>○ 保健所、市町、医療機関、医師会、介護施設等は、認知症に関する相談窓口や早期対応の必要性、認知症サポート医・もの忘れ相談医の情報等について啓発します。</p> <p>○ 市町は、専門医や医療・介護の複数の専門職が認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問して支援する認知症初期集中支援チームを設置し、早期診断・早期対応に向けた包括的・集中的支援体制を構築します。</p> <p>○ 医療機関、地域包括支援センター等は、認知症の疑われる人を早い段階で専門医療機関へ紹介し、早期診断・早期治療に結びつけるよう取り組みます。</p>	<p>○ 啓発の取組状況【市町、病院、医師会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP、広報、ポスター、リーフレット、認知症月間特設展示、デジタルサイネージ、認知症ケアパスの配布等 ・認知症関連の会合、出前講座、健康教室、通いの場、リフレッシュ教室等でのチラシ配布等による啓発 ・実態把握訪問、もの忘れ検診実施医療機関への周知依頼とチラシの配架 ・一般市民、かかりつけ医等を対象とした研修会への講師派遣 ・もの忘れ検診の実施、認知症サポート医養成研修受講費用の助成 ・町秋まつりにて、認知症の普及啓発” ・中学校で開催された孫講座への講師派遣を行った。 ・病院日より（近隣に約 10,000 部ポスティング）により脳神経内科外来の PR を実施 ・認知症患者の受入医療機関として他施設との連携に努めている ・医療相談員が認知症に関する相談に対応し、相談か受診かにむけて関係機関と連携 <p>○ 認知症初期集中支援チームの活動状況【市町】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援件数</td> <td>—</td> <td>77</td> <td>82</td> <td>74</td> <td>64</td> <td>61</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>※うち盛岡市 59 件</p> <p>○ 認知症の方からの相談数【地域包括支援センター】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談数</td> <td>1,894</td> <td>1,712</td> <td>2,784</td> <td>3,459</td> <td>4,903</td> <td>5,941</td> <td>3,571</td> </tr> </tbody> </table>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	支援件数	—	77	82	74	64	61	64		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	相談数	1,894	1,712	2,784	3,459	4,903	5,941	3,571	<p>・R5年度事業を継続。</p> <p>・認知症チームによる一般向け認知症ケアマニュアルの作成・配架等</p> <p>・認知症初期集中支援チームの活動 76 件 ※うち盛岡市 69 件</p>
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																													
支援件数	—	77	82	74	64	61	64																													
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																													
相談数	1,894	1,712	2,784	3,459	4,903	5,941	3,571																													

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																																																								
1 認知症の医療体制	<p>○ 定期的な全身管理と口腔内管理、合併症の早期発見と早期治療を進める必要があります。</p> <p>○ 退院可能と判断される認知症患者の円滑な地域移行のため、在宅医療や認知症介護サービス等の整備と連携を図る必要があります。</p> <p>○ 認知症のケアについて医療と介護の連携を推進する必要があります。</p>	<p>○ 医療機関、専門医療機関、認知症疾患医療センター等は連携し、認知症患者の診断と治療を行います。また、認知症の診断等に要する病床の適切な確保に努めます。</p> <p>○ 医療機関は、地域包括支援センター等と連携し、認知症患者の定期的な全身管理、合併症の早期発見と早期治療に努めます。また、歯科医療機関は、歯科治療や口腔ケア等を進めます。</p>	<p>○ 認知症疾患医療センターの取扱数【岩手医大】</p> <table border="1" data-bbox="1537 233 2226 327"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取扱数</td> <td>2,308</td> <td>2,451</td> <td>2,227</td> <td>1,867</td> <td>1,789</td> <td>2,125</td> <td>2059</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（内訳）外来1,227件、入院9件、専門相談823件</p>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	取扱数	2,308	2,451	2,227	1,867	1,789	2,125	2059																																									
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																					
取扱数	2,308	2,451	2,227	1,867	1,789	2,125	2059																																																					
		<p>○ 保健所、市町、医療機関、医師会、その他の医療関係団体、介護施設等は、医療と介護の連携に取り組み、認知症の人を地域で支える地域包括ケアシステムの整備を図ります。</p> <p>○ 医療機関は、退院支援担当者を配置し、在宅医療や介護サービスの担当者との連携に努めます。</p> <p>○ 市町は、認知症介護サービス等の整備を進めます。</p> <p>○ 介護施設は、認知症の人の介護ができる人材の育成に努めます。</p>	<p>○ 退院支援（地域連携）担当者の配置状況【病院】 ※全体36病院</p> <table border="1" data-bbox="1537 636 2226 730"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 認知症介護サービスの提供定員【市町（保険者）】（人）</p> <table border="1" data-bbox="1537 785 2226 1016"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グループホーム</td> <td>—</td> <td>678</td> <td>723</td> <td>723</td> <td>706</td> <td>724</td> <td>724</td> </tr> <tr> <td>小規模（宿泊） 多機能（通所）</td> <td>—</td> <td>136</td> <td>138</td> <td>147</td> <td>148</td> <td>137</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>—</td> <td>273</td> <td>282</td> <td>272</td> <td>275</td> <td>264</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>—</td> <td>153</td> <td>159</td> <td>159</td> <td>129</td> <td>82</td> <td>82</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 退院支援（地域連携）に係る課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疾病（特に透析）によっては受入医療機関、施設が限られ、調整に時間がかかっている。 ・透析施設は通院、入院とも限られており、加えて入院が必要な患者さんが透析も必要となると、更に施設は限られてしまう。急性期の医療機関で透析可能であったとしても、長期療養が必要となると、当該医療機関が受け入れた後の行き先が見つからないため、受入れはスムーズにいかない現状がある。この問題は医療機関だけでなく、施設に入所する方でも、通院等の問題があり同様に調整困難となっている。 ・家族背景や環境を理由に転院や施設入所がスムーズに進まないケースが増えている。 ・キーパーソン不在、支払できない、他病院を出入禁止になっている等の患者さんの受入れ ・常勤職員の離職率が高い。人員不足。 ・在宅療養できる地域環境の整備。 		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	施設	34	34	34	33	36	36	36		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	グループホーム	—	678	723	723	706	724	724	小規模（宿泊） 多機能（通所）	—	136	138	147	148	137	198	通所介護	—	273	282	272	275	264	185	通所介護	—	153	159	159	129	82	82	
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																					
施設	34	34	34	33	36	36	36																																																					
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																					
グループホーム	—	678	723	723	706	724	724																																																					
小規模（宿泊） 多機能（通所）	—	136	138	147	148	137	198																																																					
通所介護	—	273	282	272	275	264	185																																																					
通所介護	—	153	159	159	129	82	82																																																					
	<p>（地域での日常生活・家族への支援）</p> <p>○ 認知症の人が、住み慣れた地域で生活することができるよう、支援体制を充実する必要があります。また、家族に対しても、精神面も含めた支援体制の構築に取り組む必要があります。</p> <p>○ 認知症の人やその家族が地域の人や専門家と情報を共有し、お互いを理解し合う認知症カフェ等の設置</p>	<p>○ 保健所、市町、医師会等は、認知症に関する知識や対応の啓発を行います。</p> <p>○ 市町、医師会等は、認知症に関する相談支援体制の充実を図ります。</p> <p>○ 市町は、認知症の人を介護する家族に対し、家族教室の開催や支援制度の周知を図ります。</p>	<p>○ 認知症の人を介護する家族に対する家族教室の開催状況【市町】</p> <table border="1" data-bbox="1537 1755 2226 1896"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>—</td> <td>46</td> <td>39</td> <td>24</td> <td>28</td> <td>36</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>—</td> <td>432</td> <td>310</td> <td>142</td> <td>194</td> <td>270</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>		現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023	回数	—	46	39	24	28	36	40	参加人数	—	432	310	142	194	270	250	<p>・R6年度は39回実施予定</p>																																
	現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																					
回数	—	46	39	24	28	36	40																																																					
参加人数	—	432	310	142	194	270	250																																																					

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																																																																																
1 認知症の医療体制	に一層努める必要があります。	<p>○ 市町は、認知症サポーター養成講座を開催し、サポーターを増やします。</p> <p>○ 市町は、認知症地域支援推進員を配置し、地域の実情に応じた認知症カフェ等の設置を推進します。</p>	<p>○ 認知症サポーター養成講座開催状況【市町】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>177</td> <td>184</td> <td>149</td> <td>111</td> <td>81</td> <td>116</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>5,580</td> <td>5,809</td> <td>5,383</td> <td>3,873</td> <td>2,651</td> <td>3,302</td> <td>3,849</td> </tr> </tbody> </table> <p>AP目標値 認知症カフェ設置市町数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>○ 認知症カフェの活動状況【市町】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>—</td> <td>102</td> <td>126</td> <td>67</td> <td>99</td> <td>134</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>—</td> <td>445</td> <td>819</td> <td>164</td> <td>339</td> <td>541</td> <td>679</td> </tr> </tbody> </table> <p>※開催回数及び参加人数は把握されていない市あり。</p>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	回数	177	184	149	111	81	116	120	参加人数	5,580	5,809	5,383	3,873	2,651	3,302	3,849		現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023	目標値	—	—	7	8	8	8	8	実績値	5	6	7	8	8	8	8		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	設置数	—	25	27	27	29	25	23	開催回数	—	102	126	67	99	134	140	参加人数	—	445	819	164	339	541	679	<p>・R6年度は109回実施予定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>AP目標値…平成31年3月に策定した岩手県民計画（2019～2028）の第1期アクションプラン（地域振興プランー県央広域振興圏ー）で計画している目標値。</p> </div> <p>・R6年度は 23箇所 で220回実施予定</p>
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
回数	177	184	149	111	81	116	120																																																																													
参加人数	5,580	5,809	5,383	3,873	2,651	3,302	3,849																																																																													
	現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
目標値	—	—	7	8	8	8	8																																																																													
実績値	5	6	7	8	8	8	8																																																																													
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
設置数	—	25	27	27	29	25	23																																																																													
開催回数	—	102	126	67	99	134	140																																																																													
参加人数	—	445	819	164	339	541	679																																																																													
2 災害時における医療体制	<p>（災害時における情報共有）</p> <p>○ 災害時優先電話や衛星電話の導入、防災無線の活用等、連絡体制を多様化する必要があります。</p>	<p>○ 保健所、市町、病院等は、災害時優先電話や衛星電話の導入、防災無線の活用等により連絡体制の強化を図ります。また、病院、保健所、消防等は、EMISの運用の充実に取り組みます。</p>	<p>○ 衛星（携帯）電話の設置数【市町・災害拠点病院・消防・保健所】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>—</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	施設数	—	14	13	12	13	13	15																																																																	
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
施設数	—	14	13	12	13	13	15																																																																													
	<p>（医療機関の防災体制及び医療活動）</p> <p>○ 災害時においても診療機能を維持できるように、医療機関の防災体制を高める必要があります。</p> <p>○ 災害時における病院間の協力体制を圏域内・外で整備する必要があります。</p>	<p>○ 病院は、施設の耐震化、通信機器の整備、非常電源の確保、食料・医薬品の備蓄等に努めます。</p> <p>○ 病院は、防災計画や防災マニュアルの策定（改定）のほか、関係業者と災害時物資優先調達協定の締結に努めます。</p> <p>○ 保健所は、病院の防災体制について把握し、防災対策の推進について必要な助言を行います。</p> <p>○ 保健所は、病院と連携し、災害時における病院間の協力体制の整備について検討します。</p>	<p>○ 災害対応マニュアル策定状況【病院】 ※全病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>28</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R6松園第一病院が松園介護医療院に転換</p> <p>○ マニュアルに関する職員への周知の有無【病院】 ※全病院</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	施設数	33	33	28	35	37	37	36		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	施設数	32	31	34	35	37	37	36																																																	
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
施設数	33	33	28	35	37	37	36																																																																													
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
施設数	32	31	34	35	37	37	36																																																																													
	<p>（災害医療コーディネーター体制）</p> <p>○ 発災直後の急性期から避難生活等が続く中長期において、被災地の医療ニーズを把握し、医療救護チーム等の効果的な派遣調整、活動支援等を行う災害医療コーディネーター体制の強化が必要です。</p> <p>○ 災害時において、被災地のニーズに対応した効果的な支援活動を行うため、保健・医療・福祉・介護等の</p>	<p>○ 災害医療コーディネーターは、災害時に被災地の医療ニーズを把握し、医療救護チーム等の効果的な派遣調整、活動支援等を行います。</p> <p>○ 保健所・市町は、被災地に、各種支援チームが情報共有しながら効果的に支援活動を行うための連携及</p>	<p>○ 大規模災害時における医療救護チーム等の派遣調整の場の設置【市町】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	市町数	—	5	5	6	5	8	8																																																																	
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																																																													
市町数	—	5	5	6	5	8	8																																																																													

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																								
2 災害時における医療体制	<p>関係機関が連携して被災地を支援する体制が必要です。</p>	<p>び調整の場を設置し、コーディネート体制を構築します。</p> <p>○ 保健所・市町は、避難所や仮設住宅等での生活の長期化に備えて、被災者の慢性疾患への対応やリハビリテーションの提供など、住民に対する健康管理を中心とした医療等が提供される体制の整備に取り組みます。</p> <p>○ 保健所は、平時において、災害医療コーディネーター、市町、医師会・歯科医師会・薬剤師会、災害拠点病院等が定期的に災害時の支援体制について協議する場を設置し、地域における関係機関の連携及び強化を図ります。</p>	<p>AP目標値 地域災害医療対策関係者の連絡会議への参加団体数 (団体)</p> <table border="1" data-bbox="1537 724 2226 865"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値 R元、2、3開催無し</p>		現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023	目標値	—	—	30	30	30	30	30	実績値	30	30	—	—	—	—	—	
	現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023																					
目標値	—	—	30	30	30	30	30																					
実績値	30	30	—	—	—	—	—																					
	<p>(災害時医療に係る研修及び訓練)</p> <p>○ 各種災害を想定した医療訓練及び研修を実施する必要があります。</p>	<p>○ 保健所、市町、病院、医師会等は、各種災害を想定した医療訓練を実施します。また、災害時医療に関する研修に参加し、災害医療人材の育成を進めます。</p>	<p>○ 災害時医療に関する研修会への参加【市町、病院、消防、保健所】</p> <table border="1" data-bbox="1537 1018 2226 1159"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加機関</td> <td>—</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>—</td> <td>116</td> <td>103</td> <td>53</td> <td>58</td> <td>55</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>※岩手医科大学災害時地域医療支援教育センターで開催する研修会への参加者数 ※その他の活動として、岩手県看護協会が主催する災害支援ナース養成研修の受講</p>		2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	参加機関	—	18	20	12	11	14	15	参加人数	—	116	103	53	58	55	50	
	2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																					
参加機関	—	18	20	12	11	14	15																					
参加人数	—	116	103	53	58	55	50																					
	<p>(災害時避難行動要支援者対策)</p> <p>○ 災害時における避難行動要支援者への支援体制を、関係機関の間で検討する必要があります。</p>	<p>○ 市町は、避難行動要支援者の把握に努めるとともに、個人情報の取り扱いに配慮したうえで関係機関と情報共有を図り、災害発生時の支援体制づくりを進めます。</p>	<p>○ 避難行動要支援者名簿の整備 8市町</p>																									
3 在宅医療の体制	<p>(市町の在宅医療・介護連携推進事業)</p> <p>○ 在宅医療・介護連携推進事業は、県内全ての市町村で取組を実施することとされていますが、地域の医療、介護資源等の違いにより、単独で全ての事業を行うことが困難な市町があるなど、取組状況に差があります。</p>	<p>○ 保健所は、在宅医療・介護連携推進事業の受け皿として期待される在宅医療連携拠点の取組に対する支援など、広域的な連携体制の構築も含め、市町の取組を支援します。</p> <p>○ 保健所は、医療や介護資源に地域差がある中で取組を推進するため、市町等単独では取組みが困難な課題等への調整、対応を推進します。</p>	<p>AP目標値 在宅医療連携拠点の事業区域数 (箇所)</p> <table border="1" data-bbox="1537 1642 2226 1782"> <thead> <tr> <th></th> <th>現状値</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>現状値は2017年の値</p> <p>※H23～R4 チームもりおか(盛岡市)、H26～R2 在宅ボックス滝沢(滝沢市)、H28～紫波郡地域包括ケア推進支援センター(矢巾町、紫波町)、R元～盛岡北部行政事務組合(八幡平市、葛巻町、岩手町)</p>		現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023	目標値	—	—	4	7	7	8	—	実績値	4	4	7	7	7	6	5	
	現状値	2018	2019	2020	2021	2022	2023																					
目標値	—	—	4	7	7	8	—																					
実績値	4	4	7	7	7	6	5																					

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																																								
<p>3 在宅医療の体制</p>	<p>(退院調整を通じた地域医療(在宅医療)との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 入院初期から退院後の生活をみすえた支援のために、退院支援担当者の配置と調整機能の強化が必要です。 ○ 入院医療機関と在宅医療に関係する機関（かかりつけ医、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等）の円滑な連携により、切れ目のない継続的な在宅医療提供体制を確保することが必要です。 ○ 退院支援の際には、患者の住み慣れた地域に配慮して在宅医療、介護・福祉サービス等の調整を図っていく必要があります。 ○ 退院支援のほか、在宅医療・介護について、患者、住民等の理解促進と知識の向上を図る必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関は、退院支援担当者の配置に努めるとともに、在宅医療・介護に関わる多職種の連携を深め、在宅医療に関係する機関が十分に情報を共有できる環境の整備を図ります。 ○ 保健所、市町及び医師会は、情報交換会、研修会等を通じて、多職種の連携を進めます。 ○ 保健所、市町、医療機関及び医師会等は、退院支援や在宅医療・介護の普及啓発を図ります。 ○ 保健所、市町及び医師会は、圏域内における入退院調整支援ルールの普及等に努め、入院医療機関と在宅医療に関係する機関との情報共有体制の整備を図るための取り組みを行います。 	<p>AP目標値 訪問診療を受けた患者数（人口10万人当たり）（人）</p> <table border="1" data-bbox="1537 415 2226 562"> <tr> <td></td> <td>現状値</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>(2017) 4,100.1</td> <td>(2018) 4,167.4</td> <td>(2019) 4,234.8</td> <td>(2020) 4,302.1</td> <td>(2021) 4369.6</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>(2016) 4,032.7</td> <td>(2017) 4,146.8</td> <td>(2018) 4,930.3</td> <td>(2019) 5,248.1</td> <td>(2020) 5,720.6</td> <td>(2021) 6209.8</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療介護連携等に係る研修会等の開催状況 【市町、病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会】（研修会等） ・地域包括ケアシステムの更なる深化・推進に向けた在宅医療・介護の連携について ・心肺蘇生とAEDの使い方 ・アルコール依存症について ・ACPについて ・言語障害がある方への支援について ・事例検討（会議と同時開催） ・高齢者虐待について ・入退院支援連携研修会 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 ・ICTを活用した医療介護連携、地域リハビリテーション研修 ・管内の市町村における在宅医療・看取りの状況を把握し、課題を洗い出し、解決策等今後の方向性を検討した。 ・障がい児（者）歯科医療推進事業地域研修会 <p>（医療介護連携を進める際の課題等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前と比較し、連携は促進されてきているが、医療介護それぞれの立場における見解の相違はあるので、両者の歩み寄ろうという意識を持つことが重要 ・身元保証等のない方（独居、身寄りなし、高齢者世帯、家族遠方）の増加、訪問診療や送迎支援等の充実が必要。 ・在宅医療を担う医療機関に限られる中で対象者の意向を汲んだ対応に苦慮することがある。 ・入院病床がない地域における近隣の病院との連携。 ・誰が看取りをするのか 		現状値	2019	2020	2021	2022	2023	目標値	—	(2017) 4,100.1	(2018) 4,167.4	(2019) 4,234.8	(2020) 4,302.1	(2021) 4369.6	実績値	(2016) 4,032.7	(2017) 4,146.8	(2018) 4,930.3	(2019) 5,248.1	(2020) 5,720.6	(2021) 6209.8	<ul style="list-style-type: none"> ○ R6年度の開催予定 ・行動変容のためのヘルスコミュニケーション ・介護職と医療職がうまくいかないのはなぜ？ ・多職種事例検討会 「高齢者の救急搬送時の課題」 「末期がん患者との向き合い方」 ・透析患者への支援のポイント ・事例検討 ・自分らしく生きるためのACPについて ・生活困窮者自立支援について、施設利用者と家族支援について 																			
	現状値	2019	2020	2021	2022	2023																																						
目標値	—	(2017) 4,100.1	(2018) 4,167.4	(2019) 4,234.8	(2020) 4,302.1	(2021) 4369.6																																						
実績値	(2016) 4,032.7	(2017) 4,146.8	(2018) 4,930.3	(2019) 5,248.1	(2020) 5,720.6	(2021) 6209.8																																						
	<p>(日常の療養支援及び人材)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多職種協働による24時間サポートができる環境づくりと、そのための人材の確保等が必要です。 ○ 地域の特性に応じた多職種協働による地域包括ケアシステムの構築が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関は、医療関係団体等と連携し、在宅医療に必要な人材の確保・育成に努めます。 ○ 医科医療機関、訪問看護ステーション等は、在宅医療・介護に関わる多職種と連携し、24時間対応可能な体制の確保に努めます。 ○ 歯科医療機関は、在宅医療・介護関係者と連携して、訪問歯科診療を進めるほか、誤嚥性肺炎の予防やフレイル対策等の観点から歯科専門職による口腔ケアの実施や指導等を促進します。また、薬局も、関係者と連携して、訪問薬剤管理指導を行います。 ○ 市町及び地域包括支援センター等は、多職種協働による地域包括ケアシステムの形成を図り、保健所は、その支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問看護ステーション事業所数 <table border="1" data-bbox="1537 1417 2226 1512"> <tr> <td></td> <td>2017参考</td> <td>2018</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> <tr> <td>事業所数</td> <td>47</td> <td>49</td> <td>48</td> <td>55</td> <td>63</td> <td>64</td> <td>68</td> </tr> </table> <p>盛岡市49、雫石町1、岩手町1、滝沢市10、紫波町3、矢巾町4</p> ○ 在宅における療養支援に関する研修会の開催【医師・歯科・薬剤師会】 <table border="1" data-bbox="1537 1585 2226 1722"> <tr> <td></td> <td>2017参考</td> <td>2018</td> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> <td>2023</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>518</td> <td>210</td> <td>395</td> <td>217</td> <td>256</td> <td>349</td> <td>418</td> </tr> </table> <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護連携推進研修会、ACP、口腔ケア、栄養、緩和ケア、認知症対応力向上研修、地域リハ、災害医療研修の各研修会を開催 		2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	事業所数	47	49	48	55	63	64	68		2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	開催回数	9	6	8	14	6	7	8	参加人数	518	210	395	217	256	349	418	<ul style="list-style-type: none"> ○ R6年度の開催予定 ・日常の療養支援に関する研修 ・入退院等支援連携研修 ・急変時の対応に関する研修 ・ACPに関する研修 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修
	2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																					
事業所数	47	49	48	55	63	64	68																																					
	2017参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023																																					
開催回数	9	6	8	14	6	7	8																																					
参加人数	518	210	395	217	256	349	418																																					

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R5年度における取組実績	R6年度における取組状況及び予定																
<p>3 在宅医療の体制</p>	<p>(急変時の対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 訪問診療や訪問看護における24時間対応可能な連携体制の構築や、重症患者に対する病診連携等により、在宅患者の病状急変時における円滑な受入体制を整備する必要があります。 ○ 救急搬送時に、受入医療機関がスムーズに対応できるよう、基本情報が記載された連絡票や「救急医療情報キット」等の活用について、関係者及び利用者への周知が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 医師会は、医療機関等と協働して、地域における在宅医療を提供する体制を整えるとともに、緊急時に対応できる体制を整備します。 ○ 市町、福祉・介護関係団体及び医師会は、保健所や消防機関等と連携し、在宅療養者や高齢者施設等に対し、「緊急時連絡票」の普及や「救急医療情報キット」等の導入を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急医療情報キット普及状況【地域包括支援センター】 <table border="1" data-bbox="1537 478 2226 571"> <thead> <tr> <th></th> <th>2017 参考</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯数</td> <td>—</td> <td>426</td> <td>310</td> <td>262</td> <td>1,545</td> <td>1,537</td> <td>1,262</td> </tr> </tbody> </table> <p>※5市町で実施</p>		2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023	世帯数	—	426	310	262	1,545	1,537	1,262	
	2017 参考	2018	2019	2020	2021	2022	2023													
世帯数	—	426	310	262	1,545	1,537	1,262													
	<p>(在宅・介護施設での看取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自宅や介護施設等での看取りについて、支援体制づくりと住民の意識づくりが必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町及び医療機関等は、厚生労働省作成の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」等を参考とし、看取りに関する情報ネットワークをつくり、自宅又は介護施設等で最期を迎えることができる医療・介護支援システムの構築を図ります。 ○ 保健所、市町等は、講演や広報誌等により、看取りに関する理解や意識の醸成を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看取りに関する理解や意識醸成の取組み【市町、地域包括支援センター、医師会、看護協会】 <p>(主な内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの生きるノート」（県医師会作成）を関係機関に配布 ・町の診療所で訪問看護ステーションと連携を図り訪問診療を実施 ・地域住民を対象に看取りを含めた在宅医療についての講話 ・「こころづもりノート」（町独自）を作成し、民生委員への研修会での提示や町民が手にとれるように配布し、広報で周知も図った ・ACPや意思決定支援を在宅療養、多職種連携研修で実施 ・施設看取り研修、意見交換会を開催 ・介護が必要になった際の心構え等の勉強会の開催 ・紫波地域包括ケア推進支援センター（委託先）を中心に、両町のワーキンググループによる会議を年3回開催し、4つの場面ごとの「目指す姿と対応等」について協議。そのうちの1場面に「看取り」を位置づけて協議。 <p>目指す姿として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域住民が在宅での看取り等について、十分に認識・理解している。 ②医療・看護関係者が対象者本人等と人生の最終段階における意思を共有し、望む場所での看取りを行えるよう支援できる。 <p>今後はACPに係る理解促進を図るため、医療介護関係者、民生委員、住民等を対象としたACPに係る研修会や講演会を開催していく。</p>																	

圏域における取組等状況調書（様式2）

新しい保健医療計画（岩手県保健医療計画（2024-2029））に係る現時点の取組の概況

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年10月末における取組状況及び今後の取組の方向性																																																																																			
1 地域の医療体制	<p>ア 地域医療の体制</p> <p>○ 盛岡保健医療圏の医師・歯科医師等の人口 10 万に当たりの人数は、共に県及び全国を上回っていますが、全県の中核的機能を担う病院の数が多し盛岡市と矢巾町に集中し、地域的偏在が課題となっています。</p> <p>○ 盛岡保健医療圏には、全県の4割超の医療資源が集中していますが、周産期医療において分娩を取り扱う医療機関は盛岡市と矢巾町のみであり、小児科標榜医療機関が自治体に一つしかない地域があるなど、医療機関の地域的偏在が課題となっています。また、無医地区や準無医地区が増加傾向にあります。</p>	<p>ア 地域医療の体制</p> <p>○ 保健所及び医療機関等は、医療の適正受診について患者や住民に対して啓発を行います。</p> <p>○ 医療機関はオンライン診療を含む遠隔医療の導入など、どこに住んでいても質の高い医療を受けられる体制を確保するとともに、医師の働き方改革を推進します。</p>	<p>○医療の適正受診の啓発の取組状況【病院、医師会等】</p> <p>・院内に医療の適正受診に係るポスター、リーフレット等を掲示（岩手県、全国消防協会、岩手県精神科救急情報センター等作成）</p> <p>○オンライン診療を含む遠隔医療の導入状況【病院】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(遠隔医療を導入している病院) 岩手医科大学附属病院、岩手県立中央病院、盛岡市立病院、川久保病院、滝沢中央病院、八幡平市立病院、荻野病院、三愛病院、未来の風せいわ病院</p>	2023	2024	2025	2026	2027	2028	-	9																																																																											
	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																
-	9																																																																																					
<p>イ 在宅医療と介護の連携体制</p> <p>○ 在宅医療・介護連携推進事業は、県内全ての市町村で取組を実施することとされていますが、地域の医療、介護資源等の違いにより、単独で全ての事業を行うことが困難な市町村があるなど、取組状況に差があります。</p>	<p>イ 在宅医療と介護の連携体制</p> <p>○ 保健所は、在宅医療・介護連携推進事業の受け皿として期待される在宅医療連携拠点の取組に対する支援など、広域的な連携体制の構築も含め、市町村の取組を支援します。</p> <p>○ 保健所は、医療や介護資源に地域差がある中で取組を推進するため、市町等単独では取組みが困難な課題等への調整、対応を推進します。</p>	<p>○訪問診療を受けた患者数（統計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(2021) 28,584</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○訪問診療を実施する病院・診療所数（統計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○歯科訪問診療を受けた患者数（統計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(2021) 14,774</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○歯科訪問診療を実施する診療所・病院数（統計）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○訪問看護ステーション数（長寿社会課調査 10.1 現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>68</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○在宅療養支援病院数（東北厚生局届出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13</td> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○在宅療養支援診療所数（東北厚生局届出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35</td> <td>38</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2023	2024	2025	2026	2027	2028	(2021) 28,584						2023	2024	2025	2026	2027	2028	54						2023	2024	2025	2026	2027	2028	(2021) 14,774						2023	2024	2025	2026	2027	2028	54						2023	2024	2025	2026	2027	2028	-	68					2023	2024	2025	2026	2027	2028	13	13					2023	2024	2025	2026	2027	2028	35	38				
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
(2021) 28,584																																																																																						
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
54																																																																																						
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
(2021) 14,774																																																																																						
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
54																																																																																						
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
-	68																																																																																					
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
13	13																																																																																					
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																	
35	38																																																																																					

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年10月末における取組状況及び今後の取組の方向性																																																												
<p>1 地域の医療体制</p>	<p>○ 多職種協働による24時間サポートができる環境づくりと、そのための人材の確保等が必要です。</p> <p>○ 地域の特性に応じた多職種による日常の療養支援を提供できる体制の構築が必要です。</p>	<p>○ 市町及び地域包括支援センター等は、多職種による日常の療養支援を提供できる体制の構築を行い、保健所は、その支援を行います。</p>	<p>○在宅医療後方支援病院数（東北厚生局届出）</p> <table border="1" data-bbox="1673 321 2623 415"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○小規模多機能居宅介護支援事業所数（宿泊定員）（長寿社会課調査）</p> <table border="1" data-bbox="1673 457 2623 552"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>17 (198)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○多職種連携に関する研修会・意見交換会の開催状況【市町、地域包括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行動変容のためのヘルスコミュニケーション ・多職種事例検討会 ・自分らしく生きるためのACPについて ・生活困窮者自立支援、施設利用者と家族支援について ・日常の療養支援に関する研修 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 							2023	2024	2025	2026	2027	2028	3	3					2023	2024	2025	2026	2027	2028	-	17 (198)																																		
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																										
3	3																																																														
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																										
-	17 (198)																																																														
	<p>ウ 認知症の医療体制</p> <p>○ 認知症の予防や早期発見・早期対応が行えるよう、治療体制や相談支援体制の充実、専門医療機関につなぐ一連の仕組みづくりなど、専門的で総合的な認知症相談・診療体制の更なる質の向上と関係機関の連携強化が必要です。</p> <p>○ 医療と介護が一体となり、切れ目のない認知症への対応が可能となるよう、認知症ケアに関する医療介護の連携が必要です。</p> <p>○ 医療機関や介護施設は、認知症の人の状態に合わせた対応や認知症ケアに適切に対応できる人材の拡充に努めます。</p>	<p>ウ 認知症の医療体制</p> <p>○ 保健所、市町、医療機関、医師会、介護施設等は、認知症に関する相談窓口や早期対応の必要性、認知症サポート医やもの忘れ相談医、認知症疾患医療センター等の情報等について啓発します。</p> <p>○ 市町は、専門医や医療・介護の複数の専門職が連携し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問して支援する認知症初期集中支援チームの効率的な運営を行います。</p> <p>○ かかりつけ医や包括支援センター等は、認知症の疑われる人を早い段階で認知症医療疾患センター専門医療機関に紹介し、早期発見・早期治療に結び付けるよう取り組みます。</p>	<p>○認知症に関する相談数【地域包括支援センター】</p> <table border="1" data-bbox="1673 1045 2623 1182"> <thead> <tr> <th>2022 (参考)</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,941</td> <td>4,805</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○認知症初期集中支援チーム活動状況【市町】</p> <table border="1" data-bbox="1673 1266 2623 1402"> <thead> <tr> <th>2022 (参考)</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61</td> <td>64</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○認知症疾患医療センター取扱い数【岩手医大】</p> <table border="1" data-bbox="1673 1486 2623 1623"> <thead> <tr> <th>2022 (参考)</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,125</td> <td>2,059</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○認知症サポート医数（公表データ）</p> <table border="1" data-bbox="1673 1707 2623 1812"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>74</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028	5,941	4,805						2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028	61	64						2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2,125	2,059						2023	2024	2025	2026	2027	2028	-	74				
2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																									
5,941	4,805																																																														
2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																									
61	64																																																														
2022 (参考)	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																									
2,125	2,059																																																														
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																										
-	74																																																														

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年10月末における取組状況及び今後の取組の方向性																																				
<p>2 災害時に備えた医療体制</p>	<p>○ 災害時優先電話や衛星電話の導入、防災無線、EMISの活用等、連絡体制を多様化する必要があります。</p> <p>○ 発災直後の急性期から避難生活等が続く中長期において、被災地の医療ニーズを把握し、医療救護チーム等の効率的な派遣調整、活動支援等を行う災害医療コーディネート体制の強化が必要です。</p> <p>○ 災害時において、被災地のニーズに対応した効果的な活動支援を行うため、保健・医療・福祉・介護等の関係機関が連携して被災地を支援する体制が必要です。</p> <p>○ 各種災害を想定した医療訓練及び研修を実施する必要があります。</p> <p>○ 災害時における避難行動要支援者への支援体制の整備に取り組む必要があります。</p>	<p>○ 保健所、市町、病院等は、災害時優先電話や衛星電話の導入、防災無線の活用等により連絡体制の強化を図ります。また、病院、保健所、消防等は、EMISを活用した情報共有の充実に取り組みます。</p> <p>○ 災害医療コーディネーターは、災害時に被災地の医療ニーズを把握し、医療救護チーム等の効果的な派遣調整、活動支援等を行います。</p> <p>○ 保健所・市町は、被災地に、各種支援チームが情報共有しながら効果的に支援活動を行うための連携及び調整の場を設置し、コーディネート体制を構築します。</p> <p>○ 保健所、市町、病院、医師会等は、各種災害を想定した医療訓練を実施します。</p> <p>○ 市町は、避難行動要支援者の把握に努めるとともに、個人情報の取扱いに配慮したうえで関係機関と情報共有を図り、個別避難計画を策定するなど災害発生時の支援体制づくりを進めます。</p>	<p>○災害時の連絡手段として準備しているもの【市町、地域包括、医師会、消防本部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛星携帯電話（64台）※うち31台は盛岡地区広域消防組合消防本部（その他の連絡手段） <p>防災無線、IP無線、携帯電話、災害優先電話（スマホ）、町内学校・地区公民館に災害時用公衆電話となる配線準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡先台帳（公共、関係機関、利用者の連絡先が記載されたもの）を準備 <p>○災害医療コーディネーターの委嘱状況（県央保健所）</p> <p>各市町1名配置</p> <p>○災害医療対策連絡会議の開催状況</p> <table border="1" data-bbox="1673 680 2623 772"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>災害医療コーディネーター、災害拠点病院、医師会、歯科医師会、消防機関、医薬品・医療機器・関係団体、保健・医療・福祉関係団体、住民関係団体、市町など37機関</p> <p>○各種災害（自然災害・感染症）を想定した医療訓練の実施状況【病院】</p> <table border="1" data-bbox="1673 953 2623 1045"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○避難行動要支援者の個別避難計画の策定状況【市町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい等を所管している部署の窓口来所時や訪問時等における個別避難計画の作成と同意者名簿への登録の呼びかけを推進するとともに、地域においては、民生委員に協力いただきながら、引き続き要支援者に対して登録を勧奨していく。 ・自主防災会が組織されている地域から策定している。 ・医療的ケアを必要とする方に対しては、本人やその家族と共に市や福祉専門職が主体となった計画の作成も進めている。 ・民生委員月例会で共助の取組として策定への協力依頼の実施 <p>○対象者全員の個別避難訓練計画を策定した市町【市町】</p> <table border="1" data-bbox="1673 1579 2623 1671"> <thead> <tr> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	2023	2024	2025	2026	2027	2028	1						2023	2024	2025	2026	2027	2028	19						2023	2024	2025	2026	2027	2028	-	1				
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																		
1																																							
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																		
19																																							
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																		
-	1																																						
<p>3 生活習慣病予防</p>	<p>○ がんは、早期発見・早期治療が重要なことから、精密検査を含めた検診の受診率向上を図る必要があります。</p>	<p>○ 特定健診・特定保健指導、がん検診について、管内の取組状況等の情報共有など受診率向上の取組を推進します。</p>	<p>○がん検診受診率</p> <p>（参考）令和4年度におけるがん検診受診率（%）</p> <table border="1" data-bbox="1673 1793 2594 1932"> <thead> <tr> <th></th> <th>胃がん</th> <th>肺がん</th> <th>大腸がん</th> <th>子宮がん</th> <th>乳がん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>6.9</td> <td>6.0</td> <td>6.9</td> <td>15.8</td> <td>16.2</td> </tr> <tr> <td>岩手県</td> <td>11.9</td> <td>10.7</td> <td>11.0</td> <td>17.7</td> <td>23.6</td> </tr> </tbody> </table>		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん	全国	6.9	6.0	6.9	15.8	16.2	岩手県	11.9	10.7	11.0	17.7	23.6																		
	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん																																		
全国	6.9	6.0	6.9	15.8	16.2																																		
岩手県	11.9	10.7	11.0	17.7	23.6																																		

圏域における取組等状況調書（様式2）

圏域の重点取組	現状及び課題	課題への対応のために想定される取組	R6年10月末における取組状況及び今後の取組の方向性																																																		
<p>3 生活習慣病予防</p>	<p>○ 若年者層の生活習慣病発症を減少させるため、受診率が低調な60歳未満の特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の公表を図る必要があります。また、事業所等で「健康経営」の取組を積極的に推進し、若年期から健康づくりに取組む必要があります。</p> <p>○ がん発症の危険因子となる喫煙、食生活、肥満、ウイルス・細菌感染、飲酒について、正しい予防知識の普及と若年期からの取組が必要です。</p> <p>○ 外食や総菜販売店で、栄養成分表示や健康に配慮したメニューの提供に取り組む必要があります。</p> <p>○ 運動習慣の定着を図るため、子どもから高齢者まで各世代が、継続して取り組むことができる施設や運動の機会を確保する必要があります。</p>	<p>○ 地域や企業等に「健康づくり宣言」、「健康経営」を普及啓発するとともに、出前講座や研修会等を通じて健康経営の取組を推進します。</p> <p>○ 受動喫煙も含めた「たばこの健康への影響」について、飲食店や事業所等への普及啓発と禁煙を望む人への禁煙外来や相談機関の周知などにより禁煙サポート体制の充実を図ります。</p> <p>○ 健康に配慮した食品の提供店や栄養成分表示を行う飲食店の拡大等の食環境整備の推進と、身体活動・運動に取り組みやすい環境整備の推進により、健康への関心が薄い方々も含めた地域全体での健康づくりを推進します。</p> <p>○ 運動習慣の定着を図るため、公共の運動施設やウォーキングコースの周知、運動習慣の定着を目指した健康教室の開催などに取り組みます。</p>	<p>○ 特定健診・特定保健指導受診率 (参考) 令和4年度における特定健診・特定保健指導受診率</p> <table border="1" data-bbox="1673 279 2163 369"> <tr> <td></td> <td>特定健診</td> <td>特定保健指導</td> </tr> <tr> <td>岩手県</td> <td>46</td> <td>18.1</td> </tr> </table> <p>○ がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数（人口10万人当たり）AP指標 (参考)</p> <table border="1" data-bbox="1673 594 2190 825"> <tr> <td>県央広域</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td>118.5</td> <td>117.2</td> <td>116.6</td> </tr> <tr> <td>心疾患</td> <td>44.8</td> <td>48.8</td> <td>47.8</td> </tr> <tr> <td>脳血管</td> <td>33.8</td> <td>35.3</td> <td>33.7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>197.1</td> <td>201.3</td> <td>198.1</td> </tr> </table> <p>○ 健康経営認定事業所数</p> <table border="1" data-bbox="1673 913 2620 1003"> <tr> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2025</td> <td>2026</td> <td>2027</td> <td>2028</td> </tr> <tr> <td>175</td> <td>184</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ たばこの健康への影響に係る出前講座実施状況【保健所】 ・ 県央保健所 4回 133人</p> <p>○ 栄養成分表示を行う飲食店数【健康国保課】</p> <table border="1" data-bbox="1673 1228 2620 1318"> <tr> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2025</td> <td>2026</td> <td>2027</td> <td>2028</td> </tr> <tr> <td>71</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>○ 運動習慣の定着を目的として健康教室の開催状況【市町】 ・ コンディショニングやピラティス、ラジオ体操、ウォーキングの教室を実施予定。 ・ 健康運動教室を1コース（3ヶ月の間、月1回で全3回）で実施。1回ごとに運動強度を上げて行い、運動及び栄養の観点からウォーキングの効果を高めるための知識、筋力トレーニングの方法などを市民等へ周知し、運動習慣の定着を図る。11月以降も全3回1コースとして運動健康教室を実施する。令和7年度は健康運動教室をコース型ではなく不定期に年間8回程度実施予定。 ・ ポイントウォーキング事業、クアオルトウォーキング（保養地・療養地等で行う個人の体力に合わせ運動リスクの少ないウォーキング）事業を継続実施予定。 ・ 週1回の健康教室を開催予定</p>		特定健診	特定保健指導	岩手県	46	18.1	県央広域	R2	R3	R4	がん	118.5	117.2	116.6	心疾患	44.8	48.8	47.8	脳血管	33.8	35.3	33.7	計	197.1	201.3	198.1	2023	2024	2025	2026	2027	2028	175	184					2023	2024	2025	2026	2027	2028	71	72				
	特定健診	特定保健指導																																																			
岩手県	46	18.1																																																			
県央広域	R2	R3	R4																																																		
がん	118.5	117.2	116.6																																																		
心疾患	44.8	48.8	47.8																																																		
脳血管	33.8	35.3	33.7																																																		
計	197.1	201.3	198.1																																																		
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																
175	184																																																				
2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																
71	72																																																				